

ごみ焼却施設で 爆発火災事故が発生



平成30年3月8日、ごみ焼却施設（香芝・王寺環境施設組合 美濃園）で爆発火災事故が発生しました。

収集車がピット(ごみ溜め場)へ燃えるごみを投入する際に爆発したことから、事故の原因は燃えるごみの中に混入されたカセットボンベなど、引火性危険物への引火であると考えられます。幸い、大きな被害には至りませんでした。車両や作業員へ引火すれば人命にまで危険を及ぼす災害となりかねません。

カセットボンベやスプレー缶でも施設を破損させるほどの爆発力があり、施設火災などの大惨事につながる恐れがありますので、次のルールを必ず守りごみを出してください。

カセットボンベやスプレー缶の安全な出し方

- ① 燃えるごみの中に缶などの燃えないごみを入れない等、ごみの分別を徹底してください。
- ② カセットボンベやスプレー缶などのガスは「完全に使い切って空の状態にしてから、必ず穴をあけて」
缶の目に出してください。

※穴があいていなかったり、燃えるごみにカセットボンベやスプレー缶などが混入していた場合は収集・受付できません。

